

調査紀行

新疆ウイグルにおける野生齧歯類調査

浅川満彦（酪農学園大学獣医学部寄生虫学教室）

文部省国際学術研究「感染高感受性中国産レミングの感染症モデルをめざした実験動物化の研究」のため、1998年9月と1999年7月のそれぞれ約2週間、中華人民共和国新疆ウイグル自治区内で野生小哺乳類の調査を行った。新疆ウイグル自治区は、中華人民共和国の西北に位置し、南にチベット自治区、北にロシア、東にモンゴル、西にカザフ共和国とキルギス共和国に囲まれた地域で、シルクロードなどのかつて東西文化交流で栄えた都市が点在することでもよく知られているが、最近は日本人技術協力者の誘拐事件により注目された。今回の調査地は天山山脈およびアルタイ山地とその周辺地域15地点であった（地図）。

この調査には財実験動物中央研究所の伊藤 守氏（本研

究代表者）、北海道大学大学院獣医学研究科の奥 祐三郎氏、酪農学園大学獣医学部の萩原克郎氏と浅川が日本側の研究者として、また中国側からは新疆ウイグル自治区地方病防治研究所の研究者達がそれぞれ参加した。新疆ウイグル自治区は人獣共通原虫疾患レーシュマニア症の流行地域であるが、どのような野生動物がこの原虫を保有しているのかがほとんど不明である。そこで、現地で動物を採集し原虫を調査することと、採集された野生動物種の中で新たな高感受性動物種を探る実験を伊藤氏が担当した。また、この地域は単包虫の濃厚感染地域としても知られることから、北海道のエキノコックスを含めた条虫類の生物学的な差異を確かめるため、条虫類の感染実験と分類学的研究を奥氏が行った。さらに、萩原氏はボルナ病ウイルスの疫学的調査、私が野生哺乳類の捕獲、登録、測定、同定、管理などの基本作業と条虫類を除く蠕虫類分類の分類学的およ

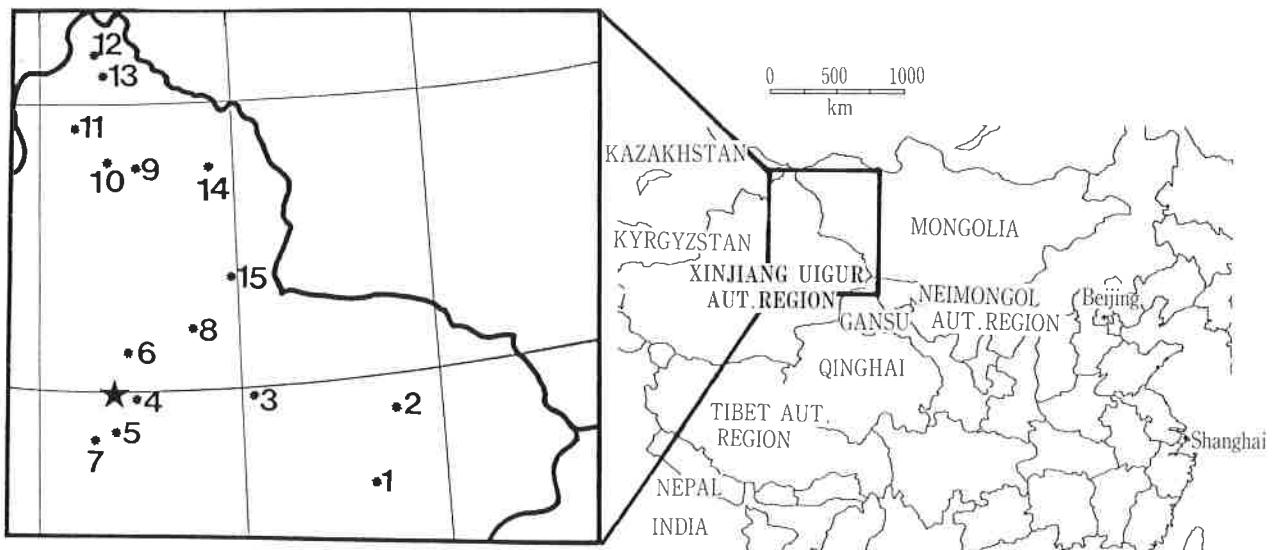


図 採集地点

1：ハミ、2：バリクン、3：ムウリ、4：フカン、5：バンファングウ、6：フウペイ、7：ホウキシア、8：ウーチャイワン、9：ウーロングウ川、10：フーハイ、11：ブルジン、12：カナス湖、13：ジャデングウ、14：フーウエン、15：カムスター

1から7は1998年天山山脈およびその周辺の調査地

8から15は1999年アルタイ山地およびその周辺の調査地

★：ウルムチ（新疆ウイグル自治区首都）

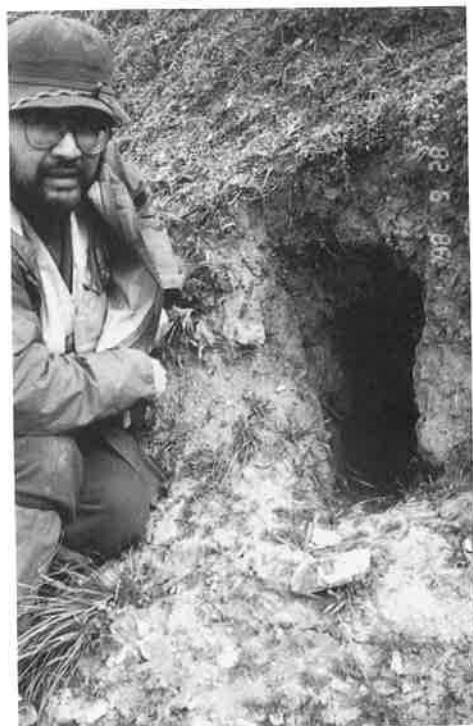
び生物地理学的研究を担当した。

浅川の分担した1998年度の中間報告については、第5回野生動物医学会大会（1999年8月、大阪府立大）で発表させていただいた。また、それぞれの調査研究の詳細は専門誌上に投稿中なので、詳しくはそれらを参考頂くとして、以降は現地調査で遭遇した野生動物を中心に述べたい。

まず両年の採集調査で、27種569個体の小哺乳類が採集された。採集された動物は中国の乾燥地帯によく適応進化したハムスター類、スナネズミ類およびトビネズミ類などいずれも日本には固有種が生息しないグループのほか、ジリス類、ジネズミ・ハリネズミの食虫類（「ネズミ」とあるがモグラの仲間）、ウラルアカネズミ、ハツカネズミ、ドブネズミのネズミ亜科（尾が長い耳の大きなネズミの仲間でマウスやラットと総称されている動物）、ハタネズミ属、ヤチネズミ属、モグラレミング、ステップレミングのハタネズミ亜科動物（尾が短い耳の小さなネズミの仲間でヴォールと総称されている動物）などが採集された。食虫類2種を除く25種が齧歯類（ネズミ目動物）であったが、それでもこれまでに新疆ウイグル自治区で記録されている種の約半数にすぎない。日本では帰化種を含めても20数種、それも通常の採集調査では3、4種程度の齧歯類しか採集されないので、分類作業についてはそれほど労力を払う必要がないが、ユーラシア大陸ではそうはいかない。まず、採集された動物の分類ができなければ調査研究は始らないのである。本学獣医学部学生にも海外で野生動物の研究をしたいと希望するものも少なくなく、そのたびに、もし真剣に希望するならば「分類学の素養をまず身につけよ」と指導しているのは、このような「日本少種、大陸多種」の事情が厳然と存在するからである。もっとも、日本の大学ではこの分野に力を注いでいないので、結局は独学に頼ることになるが…。

このほかに目撃された野生哺乳動物としては、密猟されたと考えられるアナグマ（死体）、マーモットというリス類の巣穴（写真）（いずれも天山山脈にて）、多数のレイヨウの仲間などが目撃され、豊かな自然に圧倒された。しかし詳しく述べる余裕がないので、以降ではトビネズミ類とネズミ類に限って、その生態、分布および疫学的な課題を中心につれたい。

さて、中国の乾燥地帯は中国総面積の半分を占め、1)北西部の砂漠地帯、2)内蒙ゴのステップおよび3)チベット高



天山山脈の調査地で発見されたマーモットの巣穴
左は浅川

原に大別されるが、トビネズミ類、ハムスター類およびスナネズミ類はいずれの地域でも広範囲に分布する。

私がユーラシア大陸の砂漠で代表的な野生動物群を挙げるとしたら、それはトビネズミ類である。夜行性動物の特徴として大きな眼球と耳介、跳躍に適した長い脚と尾を有するカンガルーのミニチュア版である。我々の調査はハードで、移動は時に深夜におよぶことがあったが、夜間強行軍の際、跳躍して自動車の前を走るトビネズミの姿が頻繁にヘッドライトに映し出されたものであった。この動物は本来、砾砂漠（中国ではこういう砂漠をゴビと称する）に適応したグループとされているが、今回、砂砂漠でも多く採集された。私が見たように人工砾である舗装沿いにでも分布を広げたのであろうか。最近、トビネズミ類も愛玩動物として売買されているが、少なくともこの動物を狭いケージ内飼育するの明らかに生態無視した行為なのでやるべきであろう。

ハムスター類はハタネズミ亜科動物の祖先型に近いグループと目されているネズミの仲間である。最近、ハムスター類は愛玩動物として脚光を浴びているが、その中国では野生化で多様な種類がごく普通に生息することは、ハムスターの飼育愛好家ですらあまり知られていないようであ

る。ウルムチ市街地の市場では食料雑貨に混じって、愛玩動物としてゴールデンハムスターも高値で販売されていたが、民家周辺にごく普通に生息するタビキヌゲネズミのほうがよほど愛嬌があると思う。

スナネズミ類はとくに寄生虫学領域の好適な感染実験宿主として使用されるネズミの仲間であるが、こちらも愛玩動物として流通されている。この仲間には、餌となる植物の分布と密接に関連した種が含まれ、たとえばタマリスクスナネズミ（学名メリオネス・タマリシヌス）はスミレ目ギヨリュウ科のタマリックス属（日本では園芸植物として有名）の分布と、またオオスナネズミ（学名ロンボミス・オピムス）はアカザ目アカザ科植物のハロキシロン属（好塩性植物で北海道のアッケシソウに近縁）の分布と重なる。とくにオオスナネズミは皮膚型レーシュマニア症病変を耳介から検出されている唯一の動物種で、疫学的に注目されている。将来的にはこの動物ばかりではなく、その食物である植物ハロキシロン属の分布域も疫学調査の際、留意しなければならない項目の一つとなろう。

ほかに疾病に関連した動物として、都市型齧歯類の存在は無視できない。新疆における旧来の都市型齧歯類としてはタビキヌゲネズミ（前出のハムスター類）、メリディアヌスナネズミ、ウラルアカネズミおよびハツカネズミなどが知られる。最近では、1963年ころ、鉄道の貨車に紛れて侵入したドブネズミが近代的な建物を中心に勢力を強めているといわれるが、今回の調査では村落の畑作地周辺でも2、3採集された。なお、都市型齧歯類のうちタビキヌゲネズミとメリディアヌスナネズミは新疆ウイグル地方病研究所で実験感染モデル動物として人工繁殖されている。

私は1994年7月にロシア側アルタイ山地の森林地帯で、オナガネズミ（系統的にトビネズミ類に比較的近縁なので森のトビネズミと云えようか）、ハタネズミ属、ヤチネズミ属（北海道でもお馴染みのエゾヤチネズミやミカドネズミの基亜種）、ハントウアカネズミなどを多数採集した。中国側のアルタイ山地でもほぼ同様なネズミが採集されたが、アカネズミ属の分布については興味深い事実が判明した。ロシア側で採集されたハントウアカネズミは、北海道（本州以南には分布しない）、サハリン、朝鮮半島、中国東部からロシア沿海州などの森林に生息するアカネズミ属であるが、中国側ではウラルアカネズミしか採れなかった。ユーラシア大陸中央部産アカネズミ類の分類学は途上中であ

り、これまで詳細な分布状況は不明であったが、今回の調査により両種分布域の境界線の一部は少なくともアルタイ山地のどこかである可能性が示唆された。私は、これらアカネズミ類に寄生する線虫の生物地理に強い興味を抱いているが、この研究を推進する上でも、これらアカネズミ類分布を決定する生態学的および生物地理学的研究が必要であり、次回は関連領域の哺乳類学者の参加をぜひ望みたい。

最近、このような尊い命を奪っての研究に対して、動物愛護の立場から批判があることがある。しかし、採集された多様な野生小哺乳類から、寄生虫学的にもまた生態学的にも様々な側面から新事実が判明し、得られた情報を本学の教育研究の場面で有効に生かすことが我々の責務であると信じている。そして、このことが死んだ動物への最良の報いであると私は考えている。なお、ここで述べた内容は、北海道大学大学院獣医学研究科生態学教室のワイルドライフゼミ（2000年2月）で発表し、その際、本学会学術担当理事で、かつかの地の大型野生哺乳類を永年調査している大泰司紀之教授から種々の有益なコメントを頂いた。ここに記し謝意を表する。